

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。厳しい寒さを感じられるこの季節、皆様はお変わりございませんでしょうか。

今回は、フィギアスケート全日本選手権で、見事3連覇を達成した、坂本花織（シメックス）選手に注目しました。

2月24日、長野市ビックハットで行われた日本選手権女子フリーで、坂本選手は冒頭から代名詞のダブルアクセルを決め、高さと幅のあるジャ

ンプで高い出来栄え点を獲得すると、その後も危なげなく演技を進めました。基礎点上がる後半のジャンプ、そして最後の3回転フリップとトーループの連続ジャンプ、続く3連続ジャンプ、そして最後の3回転ループとすべて決めて、出来栄え点も加算され、演技構成点も他を圧倒する演技を見せ、2位以下に20点以上の大差をつけて3大会連続4回目の優勝をはたしました。

この演技を目の当たりにして、プレッシャーをものともせず、最高の笑顔を見せた坂本選手に脱帽の思いでいっぱいでした。本当にスポーツはすばらしいですね。

皆様も素晴らしい日々を送られることを願っております。

寒さが激しい毎日ですが、皆様くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

いつも変わらぬ生活があること—— 毎日の幸せをかみしめる物語



その方はすい臓がんと診断され自宅へ戻った方でした。担当包括の方と訪問すると痛みで横にもなれない状態となっていました。

ベットや訪問診療を提案するも拒否され2階の寝室へ行くと言っていたのですが、次の日には痛みにも耐えかねベット、訪問診療利用の希望の連絡が入ったのです。

福祉用具と同行訪問すると子供さん達も訪問されており往診の先生に痛み止めの座薬を処方され安心された様子でした。

そんな時にその方が「私は来年7月に65歳の誕生日を迎える前に死にたい。その理由は65歳までに死ぬことができれば保険金が入る。せめて子供達に残してあげたい」と話されたのです。

自分が痛みで苦しむ中、なおも子供達の将来を案じる親心に涙が零れてしまいました。自宅で20日程過ごしましたが入院され永遠の眠りについたのでした。子供達の世話になりたくないのご自分の意思を貫かれた最期でした。

親の心とは・・・どこまでの果てしなく尊い心・・・自分の苦しみや痛みまでも超える心。

子供は自分の分身でもあり子供の将来を案じる心は未来永劫変わることはないと感じます。子供はいつも親が傍に居る事が当たり前のことだと思っているとありますが、毎日過ごしている今がいつ消え失せてしまうのか誰にもわかることはありません。

朝目覚めること、ご飯を食べられること、近隣のいつもの風景に出会えることは奇跡なのだ・・・そう考えると毎日の幸せを噛みしめずにはいられないと思うのです。

サンライズのデイサービス陽光だより



誕生日

誕生日カードを差し上げおやつでパンケーキを出しました。

皆さん「ありがとう」「ケーキ美味しい」と言ってお喜んで召し上がられました。



1月カレンダー製作

各自、折り紙で富士山と凧を作り、貼り付けてカレンダー工作をしました。



NEWS 今月のニュース

リズムコントで楽しい介護を

福祉や介護に関する仕事の魅力を発信するイベントが16日、山口市吉敷下東の県総合保健会館であり、介護の資格を持つお笑い芸人レギュラーが介護への思いや魅力などを紹介した。

人材確保へ県などが山口市でフェア

「あるある探検隊」で一躍人気者となったレギュラーのコンビ2人は、リズムコントをアレンジした「レクリエーション介護」で取り組む楽しい介護を紹介。リズムをとりながら右手と左手が異なる動作をする「パラレルアクション」によって脳が活性化され、認知症予防に期待されることを説明した。

参加者はレギュラーのテンポ良い

やりとりに従って両手を動かし、思うように動かなくなるなどすると会場は笑いに包まれた。レギュラーの2人は「失敗を面白くすることがお笑い。介護の現場でも、利用者が失敗しても笑いに变えることで楽しくなる」などとアドバイスした。

イベントは、高齢化の進展で人材不足が懸念される福祉・介護分野の担い手を確保しようと、県と県福祉人材センター、介護労働安定センター山口支部が「福祉・介護のしごと魅力発信フェア2023」と銘打って初めて開催。福祉や介護分野の従事者ら約200人が参加した。

福祉・介護の現場で働く若者の団体によるパフォーマンス、40歳未満の若手職員を対象とした「いきいき福祉・介護実践賞」の表彰式などもあった。

県によると、県内では福祉・介護の人材が、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年度に2420人不足する見込み。「団塊ジュニア世代」が65歳以上となる2040年度には2707人の不足が見込まれており、人材確保が課題となっている。



お笑いコンビ、レギュラーがリズムコントをアレンジした「レクリエーション介護」で楽しい介護を紹介した=16日、山口市吉敷下東

<北海道新聞 23/12/17(日)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>